

富里市障害者活躍推進計画（R2.4.1～R7.3.31）実施状況

➤ 障害者雇用等の状況及び数値目標

1 障害者雇用率の状況 【目標】法定雇用率以上

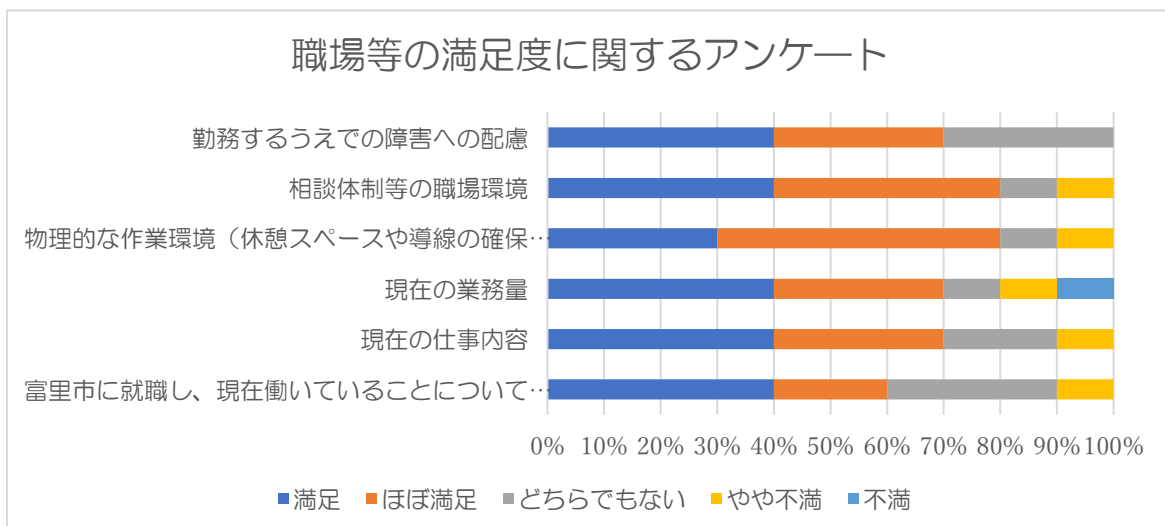
基準日	法定雇用率	法定用障害者の 算定基礎となる職員数	障害者の数	実雇用数
R1.6.1	2.5%	426.0 人	13.0 人	3.05%
R2.6.1	2.6%	424.0 人	14.0 人	3.30%
R3.6.1	2.6%	431.0 人	13.0 人	3.02%
R4.6.1	2.6%	453.5 人	15.0 人	3.31%
R5.6.1	2.6%	469.5 人	18.0 人	3.83%

2 職場定着の状況 【目標】採用後1年後の定着率100%

基準日	採用後1年後の定着率	平均勤続年数
R2.3.31	100%	22.5 年
R3.3.31	100%	22.2 年
R4.3.31	100%	24.3 年
R5.3.31	100%	26.1 年

3 職員アンケート

●アンケート実施期間 R2.6.15～R2.6.30 ●回答率 100%



➤ 障害者の活躍推進に向けた取組実績

1 推進体制の整備

(1) 組織体制の整備・相談先の確保等

- 総務課長を障害者雇用推進者として選任し、総務課人事給与班に障害者職業生活相談員の配置及び庁内相談窓口を設置しました。活躍推進計画の策定に伴い、障害のある職員本人に計画の趣旨と相談窓口について個別に説明を行いました。
- 障害のある職員を対象にアンケートを実施しました。

(2) 障害者理解の促進

- 新規採用職員を対象に、障害者差別解消に関する研修を実施しました。

2 職務の選定・マッチング等

3 職場環境の整備

- 所属の管理監督者の面談を通じ、障害特性や能力を把握し、業務との適切なマッチングに努めました。また、働きやすい環境の整備に向けて合理的配慮に努めました。

4 職員の採用・育成等

(1) 障害者採用時の取組

- 障害特性に配慮した試験が実施できるよう体制を整えました。
- 障害学生等の実習の受け入れについては、申請がなかったため実績なし。

(2) キャリア形成に向けた取組

- 千葉県自治研修センターの専門研修等に派遣し、実務能力や専門性の向上を図りました。

(3) 多様で柔軟な働き方の推進

- 年次有給休暇の取得推進や、ゆう活制度（朝型勤務時間）を実施し、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組みました。

(4) 人事異動等における配慮

- 所属の管理監督者の面談のほか、意向調査等を考慮しました。

5 優先調達等

- 障害者就労施設等への発注等を通じて、障害者の活躍の場の拡大を推進しました。

【実績】 令和2年度 5件 令和3年度 4件 令和4年度 8件